

## ハザードマップ等による事前対策の重要性を訴える学校安全研修動画を公開 ～小・中・高等学校および特別支援学校等向け～

日本損害保険協会（会長：新納 啓介）は、2021年4月から取組んでいる第9次中期基本計画で「災害に強い社会の実現」を掲げており、その取組みの一つとして、ハザードマップの普及促進を行っています。

学校保健安全法では、学校の実情に応じて学校安全が図られるべきとされており、学校毎の「学校安全計画」策定を求めています。また、令和4年3月に通知された「第3次学校安全の推進に関する計画」においては、自然災害の多発および東日本大震災の教訓を踏まえ、地域の災害リスク等地域の特性に応じた教育訓練等の実施の重要性を強調しています。このような中、当協会では教育現場における取組みの一助としていただくべく、8月21日に、一般財団法人 経済広報センターと連携して実施した「教員の民間企業研修」の中で、東京大学准教授の 小田隆史 先生に「学校安全を考える～災害安全（防災）を中心に～」のテーマで、講演とワークショップを行っていただきました。

研修の中で、小田 先生から、学校管理下における安全管理義務を履行するためには、ハザードマップ等地域の災害リスク情報等の把握および想定されるリスクへの事前対策等の準備が重要であることを解説していただき、問われうる責任についてもご紹介をいただきました（同研修には東京都内の小・中・高等学校および特別支援学校から 32 名の先生方が参加）。

今般、本講習会を収録した動画を、YouTubeに掲載しました。以下のURLから視聴できますので、小・中・高等学校および特別支援学校の方々が学校安全等を推進される際に、ぜひご参考ください。

### <防災動画と研修の様子>



第1章 <YouTubeのURL <https://youtu.be/43PhRmsmV0s> >  
(動画再生時間：24分05秒)



第2章 <YouTubeのURL <https://youtu.be/hw1s37m7hj4> >  
(動画再生時間：23分09秒)



第3章 <YouTubeのURL <https://youtu.be/F1ThJmQFyE> >  
(動画再生時間：27分04秒)



研修の様子